

質問4. 所属する学会について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	なし
※	日本内科学会、日本外科学会、日本運動生理がっかい、日本体力学会
※	なし
※	日本植物バイオテクノロジー学会
※	日本外科学会 救急医学会 消化器外科学会 小児外科学会 など
※	日本薬学会、核酸医薬学会
※	日本進化学会

質問5-2. シンポジウムについて <複数回答可> (テーマが偏っている)

回答者 番号	テーマが偏っている記述
※	免疫が無いのはおかしい。

質問5-10. シンポジウムについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	今回も非常に勉強になっています。自分は臨床医ですが、最新の基礎を学ぶことで、平時の診療に還元できています。感謝しかありません！
※	最近物理学的なテーマが多いが、来年の共催を考えるとこの傾向が進むと思う。しかし、より生物学的なテーマに対して分子生物学が挑むという姿勢が欲しい。

質問6. ワークショップについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	日によってテーマに偏りがあり、面白いと感じる分野において時間の被りで見られない箇所が多かったのが残念だった。
※	全体の発表時間は問題ないが、発表者一人当たりの時間を増やして欲しい。発表者の数が多すぎると思う。
※	全体的にとても工夫されていて、良かった。欲を言えば、オンラインからは会場での質問者の顔が分からないので、質問者の顔がでるモニターがあると、より臨場感があって良かった。
※	時間枠は100分前後くらいが良い。また、同じ時間帯のものは時間をそろえてもらった方が、続けて参加しやすい。

質問7. ポスターディスカッサー制について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	わかりにくかったです。
※	オンラインでのシステムの使い方がよくわからなかった
※	私が見た範囲ではディスカッサーは見当たらなかった。わからなかっただけかも。
※	(オンライン参加)ディスカッサーに来ていただいたが、こちら側かあちら側の通信環境が悪く、意思疎通がとれなかった。
※	ポスターを見て回った時点には遭遇しなかったのでわからない
※	ポスター発表したがディスカッサーはお見掛けしなかった。

質問8. 一般演題(ポスター発表)全般について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	わかりにくかったです。音声があるのか(speakerがいらっしゃるのか)ないのかのレベルで。(苦笑)
※	オンラインの発表は会場で見られないのはおかしい。せめてスマホで見られなければ困る。
※	オンラインのポスター発表はメリット・デメリットがあると思った。メリット: 現地に行かなくても参加できる。デメリット: 現地参加の人は現地参加の人どうし、オンライン参加の人はオンライン参加の人どうししか交流がないような印象だった。事前に質問を送れるようにすることは対策としてよかったと思うが、あまり活用されていなかった印象。
※	見にくかった。発表者が指している箇所が、オンライン参加者には分からなかった。なので、説明が分かり難かった。
※	オンラインでのポスター発表が会期中だけの発表だったようで、そのことを知らずにオンサイト参加していて、オンラインのポスター発表は閲覧することもできなかった。一定期間公開しておくべきだと思った。

質問9. 年会会期中の各日のタイムテーブルについて(※) <複数回答可>※今年の年会では2日目に一日通してほとんどの会場で一日中英語セッションが行われるようにし、その他の日程も常にどこかの会場で英語のシンポジウムが行われるようにプログラム編成しました (その他)

回答者 番号	その他記述
※	ポスターセッションの使い方が分からず、聴けていません。
※	総会は、他のものと重ならない形で開催して欲しかった。

質問10. フォーラムについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述(参加されたフォーラムの感想を含めて)
※	コロナ禍を扱うので参加したフォーラムが科学からかけ離れていて驚いて途中退出した。フォーラムの開催には審査があっただろうかと危惧した。
※	今年は内容の幅広さが少なかったように感じた。日頃接する機会の少ないもの、荒削りな感じのものを楽しみにしている。

質問11. 年会・学会の企画や取り組みについて、良かったと思うものにチェックしてください <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	高校生の聴講が可能であった点。
※	市民公開講座は、本当に市民公開講座として意図した内容だったのか疑問でした。また、大学所属の教員ではない職位のものからすると、特権階級の人たちの話を聞かされている感じがしていました。

質問12. 企業展示会・バイオテクノロジーセミナー(横浜会場・オンライン会場)について<複数回答可>
(要望・その他)

回答者 番号	要望・その他記述
※	起業展示のブースが例年よりも狭かった。オンラインの展示は興味なし。
※	オンライン企業展示は、せっかくのオンラインなのだから、会期期間中だけではなく、一定期間参加できるようにして欲しい。

質問13. 年会の発表言語について(本年会では、シンポジウム:英語、ワークショップ:オーガナイザーに
任) <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	特段問題を感じなかった
※	発表者の声が小さかったり、聞き取りにくいことがあるので字幕があると良い。

質問14. 年会の視聴サイトや、各種マニュアル・ビデオ通話機能を用いたポスター発表の体験会開催といった事前の対応、当日のトラブル対応など、ハイブリッド年会のオンラインサポート体制についてお聞きします
 <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	PDF日程表で探した希望のセッションを、視聴サイトで探すまで時間がかかった。日程表と縦横を合わせたり、検索(できたのかもしれませんが)がしやすいとなると見やすいかと思いました。
※	簡単にお気に入り登録やzoomアドレスのクリックができる仕組みがあればよりよかった。
※	ポスターのディスカッサの時間や視聴仕方がわかりにくい
※	視聴サイト内で、会場が変わるたびに毎回Zoomに入りなおすのは少し手間に感じた。
※	使用していない
※	意見交流場について、事前の動作チェックの時は何の問題もなかったが発表当日はサイトが重く、ページの読み込みに都度時間がかかった。ビデオ通話機能も、途中映像が固まったり声が聞こえなかったり、不具合が発生した。
※	現地参加したのでオンライン視聴の準備を全くしておらず、ポスターのみオンラインで読み、それに関しては会期中読めたので良かった。

質問15. 年会オンライン視聴のためのツールのうち、よかったと思うものについてお聞きます <複数回答可>(その他)

回答者番号	その他記述
※	なんとか使えたが、使いにくさがあった
※	使用していない
※	なし
※	今回オンラインでは特に視聴しなかったのでわからない
※	オンサイトで参加していて、オンライン視聴は行っていません。

質問16. 本年会は、長引くコロナ禍で先の見通しが難しい中、オンサイト開催に基軸を置いたハイブリッド開催の準備を余儀なくされ大きな支出が見込まれる一方、協賛企業の出展が相当数減少しました。そこで本年会では経費節約のため年会プログラム集冊子や年会アプリ、オンサイト会場で配布していたポケット判プログラムを作成しませんでした。またそれに伴い、会員の皆様にはプログラム集冊子に同封発送していた学会会報(年3回発行)の11月号も印刷版作成を送っています。これらについてお聞きます <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	一度ざっと見て興味ある演題に印をつけたり、後からより詳しく読もうとするとときに、しおりなどで目印ができるとうい。紙だと書き込んだりおったりできて便利だが、全部持ち歩くには重いので、基本的にはオンラインでよいです。
※	スマホのアプリは必須である！是非復活して欲しい。
※	今回に限らず、プログラムは電子版でも良いので、完成した形として残すことができるものであって欲しい。これまでの横浜での年会のプログラムが展示されていたが、まとまった形があるからこそ、そのようなことができる。クリック、クリックで希望の項目を呼び出す形式だけでは、一覧もできず、記録にもならない。

質問17. 今後の年会の開催形式についてお聞きます <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	コロナ禍でなかったら、現地集合の方が良いと思いますが。。。
※	本来なら完全オンサイトだが、一部ならオンラインでも良い。但し、オンラインポスターを会場で見られるようにスマホ対応が必要。
※	様々な理由(身体的な理由や家庭の事情など)で現地参加が難しい人にとっては、学会参加へのハードルが低くなるので、ぜひオンラインの枠は残してほしいと感じた。

質問18. 年会をオンライン開催またはハイブリッド開催(オンサイト+オンライン)とする場合、「未発表データを前に議論したいが、発表資料を不正に複写・撮影等されることへの懸念がある」との声が聞かれます。講演の事後配信や一般演題のポスターデータ掲示についてお聞きます <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	発表者ではないので回答できない
※	「未発表データを前に議論したいが、発表資料を不正に複写・撮影等されることへの懸念がある」との声が聞かれます。→その通りですね
※	基本的には発表者に任せる。
※	発表することは無いのでどちらでも良い

質問19. その他、年会全般についてのご意見があればお書きください。分子生物学会は、今後の年会のあり方を見直す過渡期にさしかかっています。ここが良かったので続けてほしい、あるいはここを工夫すればさらに良くなるといった改善案など、厳しいご批判の形でももちろん結構ですので、率直なコメントを広くお寄せくださるようお願いいたします。

回答者 番号	意見記述
※	ハイブリッド開催にいただき、選択肢が増えて大変有り難く感じました。別件でやむなく視聴できなかった部分もあり、可能な範囲かつ参加登録者限定で、録画を開催後に閲覧できると一層助かります。
※	臨床に役立つアイデアを探しに参加しています。自分は研究より臨床を選んだので、研究畑の先生たちのご講演を非常に楽しく拝聴させてもらっています。これからも、研究の楽しさを前面に押し出すレクチャーを期待しています。
※	オンライン形式とすることで、学生でも学業に支障を出さずに聴講することが可能となったので良かった。反面午前中の講義を聞くことが出来なかったため、発表者・運営の方々の負担にならなければ会期の延長・時間の短縮、またはフレキシブルな発表時間の仕組みがあればと思う。
※	・学会本来の機能はオンサイトにある。実際に多くの人と議論したり、疑問を共有することが大切。・オンラインで情報を得るだけでは学会として機能しないことに参加者はきずくべき。・ポスターオンラインだとチラ見ができない。他人の質問に便乗した質問もしにくい。見る側の都合でいえば時間の調整が難しい。出来ればポスターはオンサイトのみにして欲しい。
※	オンライン参加は学会に集中できない。これは分子生物学会に限らない。
※	オンライン参加の一番の魅力はオンデマンドにて事後に発表を見られることだと思います。今回のような形で、オンデマンドで後日見られないのであれば、恐らく来年からは参加しないと思います。
※	ハイブリッド開催は大変だったと思います。ご尽力して下さいました方々、ありがとうございました。